

中国地方国際物流戦略チームの取り組み状況

令和3年10月7日

中国地方国際物流戦略チーム事務局

中国地方国際物流戦略チームの活動概要 (2021年)

- ・2021年(本会議以降)は、利用者懇談会 2回(2港)を開催。
- ・人財不足等の課題に対しては、関係団体へのヒアリングや関係企業へアンケートを実施し、物流事業者の現状や課題について整理し、今後の対応策についてとりまとめを行った。
- ・利用者懇談会や人財不足等課題調査で頂いた意見・要望をもとに、部会・本会議で政策提言へ反映させ、政府や中央省庁へ要望を行う。
- ・物流ネットワーク機能継続検討WG関連として、海上輸送利用のガイドラインに宇野港版(11月)、浜田港版(6月)を追加策定、公表し、9月には中国運輸局HPで公表している定期航路情報の更新を実施した。

2021年の活動スケジュール

会議名等	2020年			2021年										
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
中国地方 国際物流戦略チーム		★ 本会議 [書面]	政策提言										● 部会	★ 本会議 [書面]
利用者懇談会			▽ 浜田港									▽ 呉港		
人財不足等課題 調査		ヒアリング				アンケート		集計・分析等						
物流ネットワーク 機能継続WG		■ 海上輸送利用のガイドライン (宇野港版)策定、公表						■ 海上輸送利用のガイドライン (浜田港版)策定、公表				■ 定期航路情報の更新		

利用者懇談会の開催

- ・中国地方国際物流戦略チームの取り組みの一つとして、港湾利用者の方々の物流全般に関するニーズを把握し、港の機能改善等に反映させるために、利用者懇談会を開催している。
- ・2006年(平成18年)以降、これまで41回(のべ15港)(鳥取港、浜田港、境港、水島港、宇野港、広島港、岩国港・大竹港、宇部港・小野田港、呉港、福山港・尾道糸崎港、徳山下松港・三田尻中関港)で開催し、管内各港の状況変化を鑑みながら、意見・要望を政策提言に反映する。
- ・2020年12月には浜田港で、2021年8月には呉港で、利用者懇談会を開催した。

浜田港利用者懇談会

開催概要

- 開催日：令和2年12月24日(木)
- 会場：オンライン開催
- 参加企業：地元企業11社

主な意見内容

- (福井地区)・コンテナ航路の利便性向上(増便・拡充)
- ・新規岸壁整備の早期事業化
- (共通)・長浜地区～福井地区間及び国道9号までのアクセス強化
- ・山陰道の早期全線開通
- ・新たな企業誘致策や港の利用促進に資する支援策の充実
- ・内航定期航路の就航

呉港利用者懇談会

開催概要

- 開催日：令和3年8月19日(木)
- 会場：オンライン開催+呉市つばき会館
- 参加企業：地元企業8社

主な意見内容

- (阿賀マリノポリス地区)・RORO船の定期就航への期待
- ・岸壁の増深や延長、ヤードや上屋の拡張
- ・エプロンの拡張による荷役作業の安全性確保
- (交通アクセス)・東広島呉道路の阿賀インターチェンジ立体化工事の早期完成
- ・広島呉道路(クエアライン)の早期4車線化



浜田港利用者懇談会 開催状況



中国地整会場



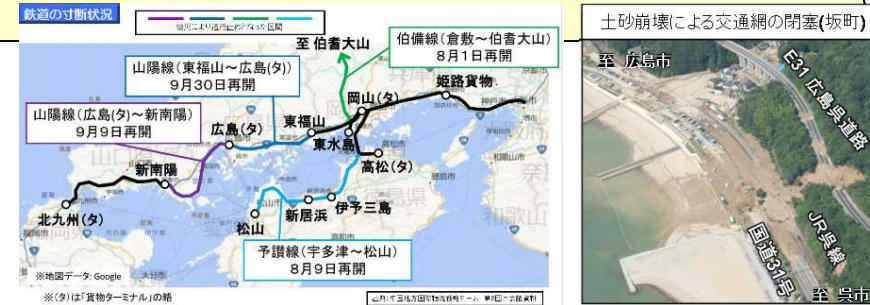
呉市つばき会館会場

呉港利用者懇談会 開催状況

物流ネットワーク機能継続検討WGの開催（2019年度）

- ・ 昨年（2018年）の第8回本会議で承認された「物流ネットワーク機能継続検討ワーキンググループ」を、3回開催。
（第1回：H31.3.26、第2回：R1.7.4、第3回：R1.8.29）
- ・ 平成30年7月豪雨における広域物流ネットワーク寸断に伴う物流面の問題点を洗い出し、今後の中国地方管内における非常災害時の物流のあり方を検討を行った。

平成30年7月豪雨では、中国地方の各所において土砂災害や浸水被害等による企業設備の毀損、また長期にわたる断水の影響に加え、中国地方の東西を結ぶ幹線道路や鉄道などの物流の大動脈が寸断され、広域物流ネットワークの強靱化、とりわけリダンダンシーを確保することの重要性が改めて認識された。

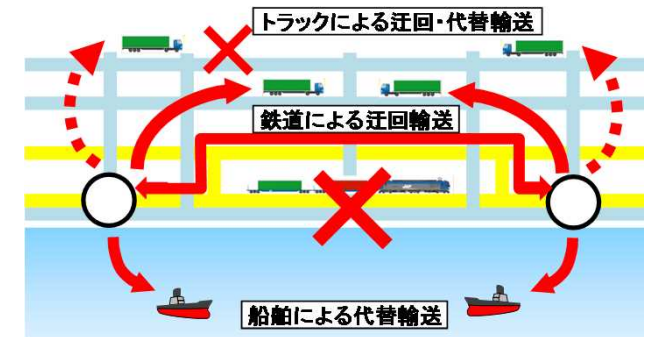


《鉄道網の寸断》

《道路網の寸断》

【目指すべき方向】海上輸送による物流網のリダンダンシー機能の強化
※通常の陸上物流ネットワークの一部が途絶えた場合、**海上輸送を含んだ代替的な輸送網の構築**を図る。

【対応方針(案)】**普段、海上輸送を利用していない企業や既に海上輸送を利用している企業にも参考となる情報を提供できる環境を構築し、トラック輸送、鉄道輸送、海上輸送などの多様な物流輸送によるリスク分散を促す**



《物流機能を維持するリダンダンシー確保のイメージ》

具体的な取組

【課題①】
平時に海上輸送を実施していない事業者が災害時に海上輸送に切り替えるのが困難。
⇒【具体的な取組①】
輸送モードの多様化と利用方法の共有

【課題②】
海上輸送要請に対する事業者間・行政間の連携体制が不十分。
⇒【具体的な取組②】
複数連携輸送の連絡・協力体制の構築

【課題③】
災害発生時に海上輸送網の健全度の情報発信が不十分。
⇒【具体的な取組③】
海上輸送網の情報発信の充実

【短期での取組】海上輸送利用のガイドラインの構築
海上輸送網の情報発信の充実

【中期での取組】求船・求貨システムの構築

WG構成員

機関名	所属及び役職
有識者	岡山大学大学院 社会文化科学研究科 教授
	島根県立大学 総合政策学部 教授
	広島大学大学院 先進理工系科学研究科 准教授
経済団体等	一般社団法人 中国経済連合会 部長
	中国地方商工会議所連合会 (広島商工会議所 事務局長兼産業・地域振興部長)
物流関係団体	中国地方海運組合連合会 専務理事
	中国地方港運協会 専務理事
	中国旅客船協会 専務理事
	中国トラック協会 専務理事
	日本貨物鉄道株式会社 関西支社 広島支店 副支店長
地方公共団体等	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、呉市、境港管理組合
	国の機関 中国運輸局、中国地方整備局

海上輸送利用のガイドラインの策定について

背景

- ・平成30年7月豪雨災害の際、道路や鉄道が寸断され、陸上輸送が停滞。
- ・既存の定期航路が十分活用できず、海上輸送への転換不可。

豪雨災害で明らかになった課題

- ・海上輸送を利用するための手続きが複雑かつ依頼先が不明。
- ・船会社は、普段つきあいのない荷主の急な要望への対応は不可。

物流戦略チームでの検討結果

海上輸送の普段使いが重要

海上輸送を利用する際に必要な情報を港湾毎に「ガイドライン」としてとりまとめる。

- ・海上輸送の仕組みの解説。
- ・定期の国際航路、国内航路の一覧。
- ・海事関係者の連絡先。
- ・災害発生時の海事関係者の窓口。

取組状況

- ✓ 広島港版(R2.6)、宇野港版(R2.11)、浜田港版(R3.6)を策定済み。
- ✓ 策定したガイドラインは物流戦略チームのHPへ掲載するとともに、中国管内の主要企業へ周知している。
- ✓ 継続して管内主要港について取りまとめを行う。

瀬戸内海・日本海を通過する主な航路



海上輸送利用のガイドライン

～ 海上輸送による物流効率化の推進 ～

中国地方国際物流戦略チーム
物流ネットワーク機能継続検討ワーキンググループ

現在、各港単位での調整・作成に時間を要していることから、よりコンパクトな内容(パンフレットなど)にするなど工夫を行うことで、管内全港版の早期作成を目指していく。

海上輸送網の情報発信の充実

【中国運輸局ホームページにて情報公表】

- 中国管内で、中国管内発着の定期航路(フェリー、RORO、コンテナ等)の情報を一括して確認できるHP等がなかったため、定期航路情報を一括して確認できる情報発信を中国運輸局HPにおいて掲載中(R2. 9より)。

情報掲載内容

HPアドレス: https://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/00001_00692.html

中国地方発着フェリー・RORO船・コンテナ船等航路情報について

2020年9月11日 更新

中国地方発着 フェリー・RORO船・コンテナ船等航路情報

◆定期航路◆



フェリー

こちらをクリック

内航RORO船

こちらをクリック

内航コンテナ船

こちらをクリック

国際フィーダー

コンテナ船

こちらをクリック

お問い合わせ(各事業所にお問い合わせいただく下記までお願いします)

中国運輸局 海事振興部 貨物・港運課 TEL:082-228-3690

中国地方国際物流戦略チーム(事務局:中国地方整備局 港湾空港部)

クルーズ振興・港湾物流企画室 TEL:082-511-3928

中国地方発着の内航RORO船航路情報

◆定期◆中国地方発着の内航RORO船航路図



(注) 航路、ダイヤ、運賃等が変更になっている場合もありますので、各事業者のホームページ等で確認してください。

R2.5.1時点

航路図	港	航路の種類	航路名	寄港地	便数 (便/週) 又は(便/日)	寄港曜日	船社名	事業者ホームページ	備考
①	宇野	内航RORO船航路	東京～宇野 ～苅田航路	苅田～宇野(田井)→東京	1便/週	—	商船三井フェリー	https://www.kss/liner.co.jp/	RORO船・R1.4.6内航地東東
②	宇野	内航RORO船航路	千葉～宇野～ 三島川之江航路	千葉→堺泉北→宇野(田井)→三島川之江	6便/週	—	大玉海運(株)	http://www.daiyusen.com/	RORO船
③	広島	内航RORO船航路	広島～千葉航路	広島→千葉(金)→千葉(水)→広島(水)→千葉(金)→広島(月)	3便/2週	月、金、水	マツダロジスティクス	https://www.matsublogistics.com/industry/321.htm	
④	広島	内航RORO船航路	関西～中部航路	広島→中関→堺→四日市→広島	2便/週	月、金	マツダロジスティクス	https://www.matsublogistics.com/industry/321.htm	
⑤	岩国	内航RORO船航路	東京～岩国～博多 航路	東京→博多→東京→博多→岩国→東京→博多→岩国→東京	2便/週	木、土	商船三井フェリー 日本海運線	https://www.kss/liner.co.jp/ http://www.nipponkaiun.com/line/roborole.html	RORO船

【定期】中国地方発着の内航RORO船航路情報

中国地方国際物流戦略チームの概要

設置目的

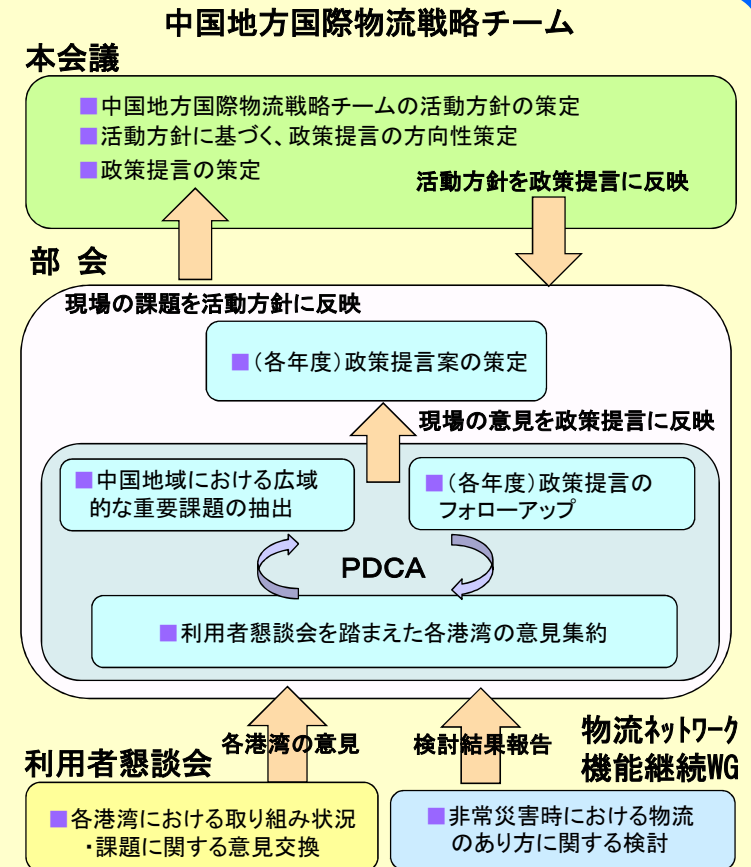
- 中国・ASEAN等が生産拠点・販売拠点として急成長し、国内企業が調達・製造・販売拠点をアジアにシフト
- 我が国の経済活動を支える国際物流と国内の陸・海・空の各輸送モードが有機的に結びついた迅速、低廉でシームレスな物流ネットワークの構築が必要
- 関係機関相互の密接な連携により、地域の実情に応じた国際物流のボトルネックの解消と、効率的な新しい物流システムの構築を目指す

組織

中国地方国際物流戦略チーム（本会議）委員名簿

	所属及び役職
経済団体等	一般社団法人 中国経済連合会 会長（本部長） 中国地方商工会議所連合会 会頭
有識者	岡山大学大学院 社会文化科学研究科 教授 島根県立大学 総合政策学部 教授 広島大学大学院 工学研究科 准教授
物流関係団体等	中国地方海運組合連合会 会長 中国地方港運協会 会長 神戸通関業会 理事長 門司通関業会 会長 中国トラック協会 会長 中国地方倉庫協会連合会 会長 中国冷蔵倉庫協議会 会長 広島国際航空貨物運送協会 会長 日本貨物鉄道株式会社 関西支社 広島支店長
地方公共団体等	鳥取県知事 島根県知事 岡山県知事 広島県知事 山口県知事 呉市長 境港管理組合 管理者

	所属及び役職
地方支分部局等	総務省 中国総合通信局長
	法務省 広島入国管理局長
	財務省 神戸税関長
	財務省 門司税関長
	厚生労働省 広島検疫所長
	厚生労働省 神戸検疫所長
	厚生労働省 福岡検疫所 門司検疫所支所長
	農林水産省 神戸植物防疫所長
	農林水産省 動物検疫所 神戸支所長
	経済産業省 中国経済産業局長
	国土交通省 中国地方整備局長
	国土交通省 中国地方整備局 副局長
	国土交通省 中国運輸局長
	国土交通省 大阪航空局長
	海上保安庁 第六管区海上保安本部長
	海上保安庁 第七管区海上保安本部長
	海上保安庁 第八管区海上保安本部長
株式会社日本政策投資銀行 中国支店長	



中国地方国際物流戦略チームの活動概要（2006年度～2020年度）

- ・「中国地方国際物流戦略チーム」では、平成18年8月の設置以降、**10回の本会議、20回の部会、39回の各港利用者懇談会**を開催。
- ・利用者懇談会で頂いた意見・要望をもとに、部会・本会議で政策提言へ反映させ、政府や中央省庁へ要望を行っている。

【利用者懇談会における意見】

- ・バルク貨物への支援策の検討
- ・港湾施設の新規整備、維持補修
- ・道路整備によるボトルネックや渋滞の解消
- ・夜間入出港、航行の規制緩和
- ・専用岸壁の改良や航路の維持浚渫への補助
- ・新規航路の誘致、既存航路の増便・維持支援
- ・港湾施設利用料の減免
- ・各種行政手続きの簡素化
- ・観光と物流の協調
- ・港の連携に向けた実務レベルの勉強会実施
- ・物流機能の強化に向けた内航定期航路誘致
- ・災害時の避難経路確保や港湾施設の耐震化
- ・船員不足、高齢化に対する行政の支援 等



利用者の声を聞き、物流の更なる効率化を目指します

【政策提言へ反映（令和2年）】

産業活動の国際競争力強化に資する物流の実現

- 国際バルク戦略港湾、日本海側拠点港、国際拠点港湾等における機能の充実
- 国際物流機能の維持・強化

国内物流の効率化に向けた連携の強化

- 地域間等の連携による物流効率化
- 多様な関係者との連携と協力による物流効率化

労働力不足に対する人材確保・育成・活用施策の促進

- 人材確保・育成施策促進
- 事業者間連携の促進
- ICT等の先進的技術活用

大規模災害等に備えた強靱な物流ネットワークの構築

- 物流におけるリダンダンシーの確保（平時からの輸送方法の多様化）
- 災害時における支援物資の輸送ネットワークの強靱化
- 企業生産活動を支える輸送手段の多様化の促進と効率化の推進
- 世界的に流行する感染症への対応

【要望活動】



中国地方国際物流戦略チーム有志一同による政府への要望活動状況(R2.11.25)

【参考】中国地方国際物流戦略チームの活動経緯

年月	本会議・部会等	利用者懇談会等
【第Ⅰ期】 設立と緊急提言		
2006 (H18)	8月 9月 第1回本会議 第1回部会、第1回勉強会	広島港・大竹港①／徳山下松港①／水島港①／ 浜田港①／境港①
2007 (H19)	1月 3月 5月 6月 第2回部会 第3回部会 第2回本会議 緊急提言発表	鳥取港①／呉港①／福山港・尾道糸崎港①／ 宇部港・小野田港①
【第Ⅱ期】 緊急提言を踏まえたアクションプランの作成		
2007 (H19)	9月 12月 第4回部会 第5回部会	(7月)中国地方国際物流シンポジウム (9月)国際物流懇談会 in 山口
2008	2月	アクションプラン発表
【第Ⅲ期】 提言の深化とバルクターミナル構想に係る検討		
2008 (H20)	6月 第3回本会議	(9月)大竹港シンポジウム(後援) 呉港②／鳥取港②・境港②／浜田港②／水島港② ／広島港②
2009 (H21)	1月 5月 9月 12月 第6回部会 第7回部会 第4回本会議 第8回部会	徳山下松港②・三田尻中関港①／ 岩国港①・大竹港②／尾道糸崎港②／ 宇部港・小野田港②
2010 (H22)	1月 2月 3月 6月 第9回部会	(1月)中国地方のバルク港湾の今後を考えるフォーラム (2月)バルクフォーラム in 周南 in福山 (3月)物流セミナー
【第Ⅳ期】 震災を踏まえた地域防災力と産業競争力の強化に向けた検討		
2011 (H23)	3/11 3/22 7/22 8月 【東日本大震災】 第10回部会 第5回本会議 政策提言とりまとめ	
2012 (H24)	3/1 第11回部会	(3月)国際物流フォーラム2012

年月日	本会議・部会等	利用者懇談会等
【第Ⅳ期】 震災を踏まえた地域防災力と産業競争力の強化に向けた検討		
2013 (H25)	1/18 第12回部会	境港③／水島港③／広島港③／ 宇部港・小野田港③／岩国港・大竹港② 福山港・尾道糸崎港③／浜田港③
2014 (H26)	3/12 10/17 第13回部会 第14回部会	呉港③／鳥取港③／ 徳山下松港・三田尻中関港③ (7月)阪神港利用促進プロジェクト活性化セミナー (後援)
2015 (H27)	12/2 第15回部会	広島港④／宇野港①
2016 (H28)	2/17 8/25 第6回本会議 第16回部会	境港④／浜田港④／岩国港・大竹港③／
2017		宇部港・小野田港④
【第Ⅴ期】 産業競争力強化のための物流の連携強化と生産性向上に向けた検討		
2017 (H29)	5/25 8/25 第7回本会議 第17回部会	呉港④
産業競争力強化のための物流の連携強化、生産性向上及び物流ネットワークの強靱化に向けた検討		
2018 (H30)	9/18 10/9 第18回部会 第8回本会議	水島港④／福山港・尾道糸崎港④
2019 (R1)	9/9 10/4 第19回部会 第9回本会議	徳山下松港・三田尻中関港④ 物流ネットワーク機能継続検討①②③
2020 (R2)	9/25 10 第20回部会 第10回本会議(書面)	宇野港②／浜田⑤
2021 (R3)	10/7 第21回部会	呉港⑤